

iPadのOS アップデートをしない方法について

はじめに

iPad では OS のアップデートが存在し、アップデートの準備が完了すると、ポップアップにて準備完了の旨が表示されインストールを促します。

この資料はインストールを行わないための操作方法について記載します。

1 . iOS12 での自動アップデート機能の無効化について

iOS12 より、OS の自動アップデート機能が追加されました。

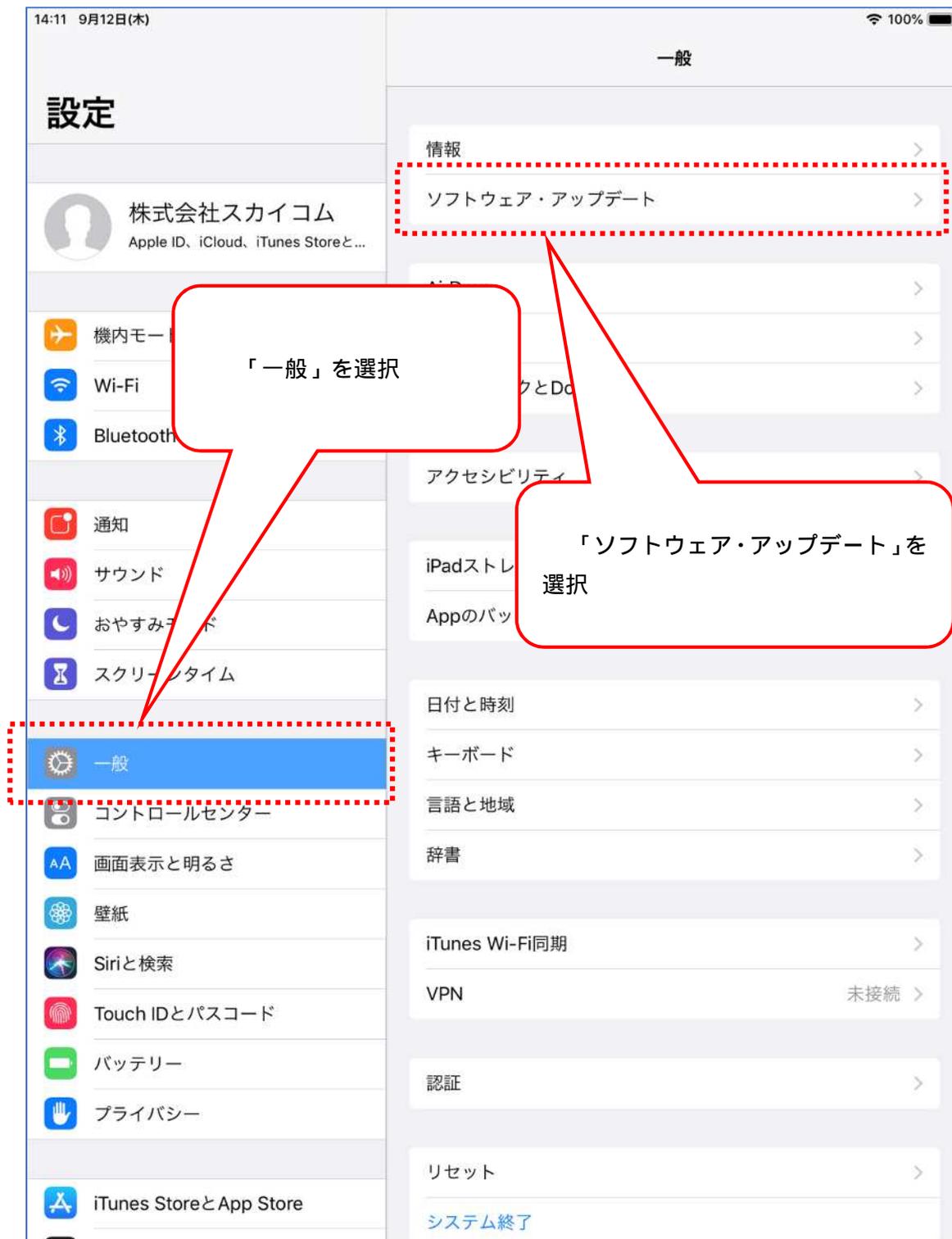
自動アップデートを有効にしておく、アップデートがある場合で、iPad が充電中かつ Wifi に接続されているという条件を満たした際に自動的にアップデートファイルのダウンロード、インストールが実施されます。

まず、iOS12 で自動アップデートされないための設定確認方法について記載します。

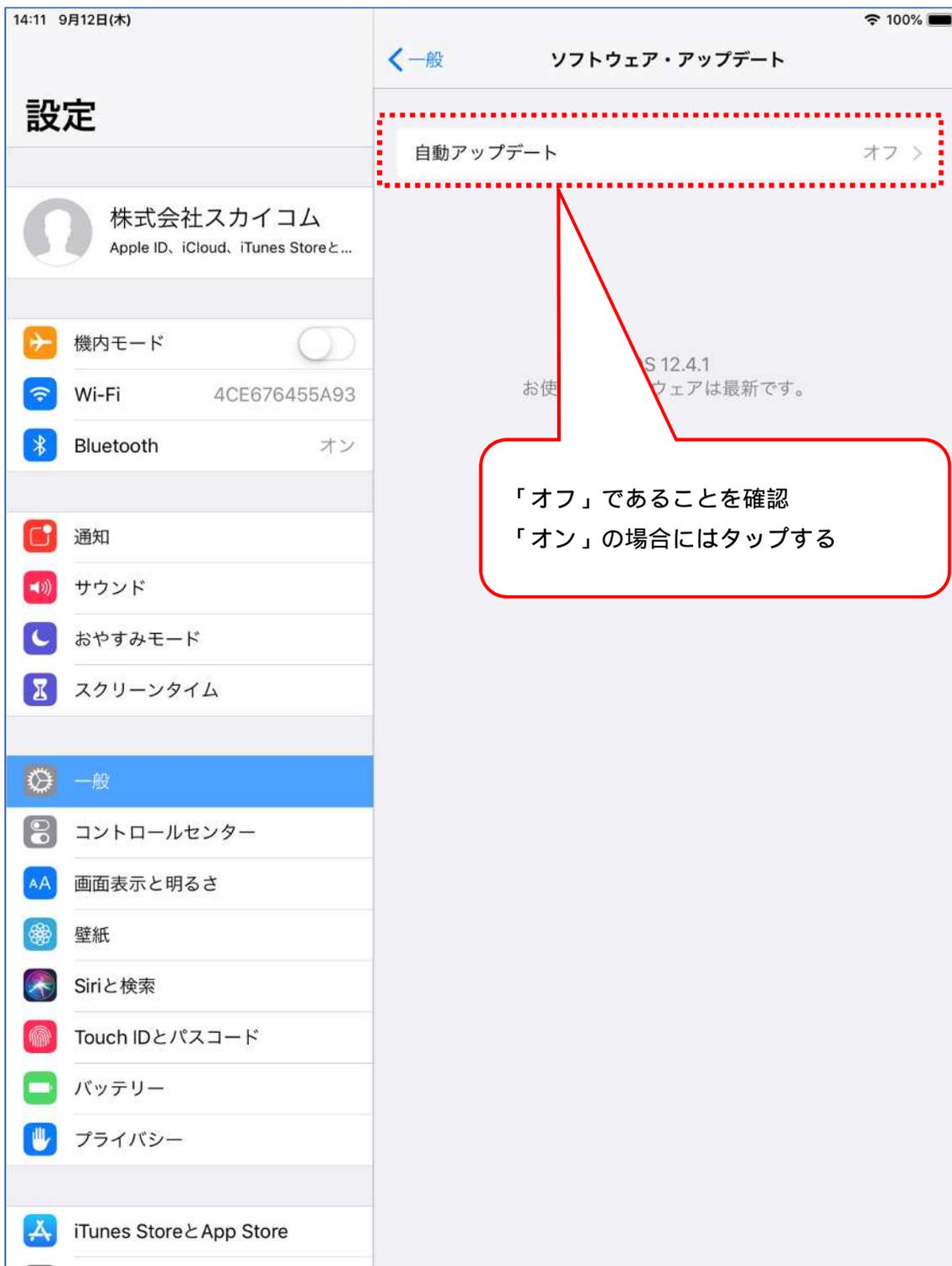
設定アプリを開く



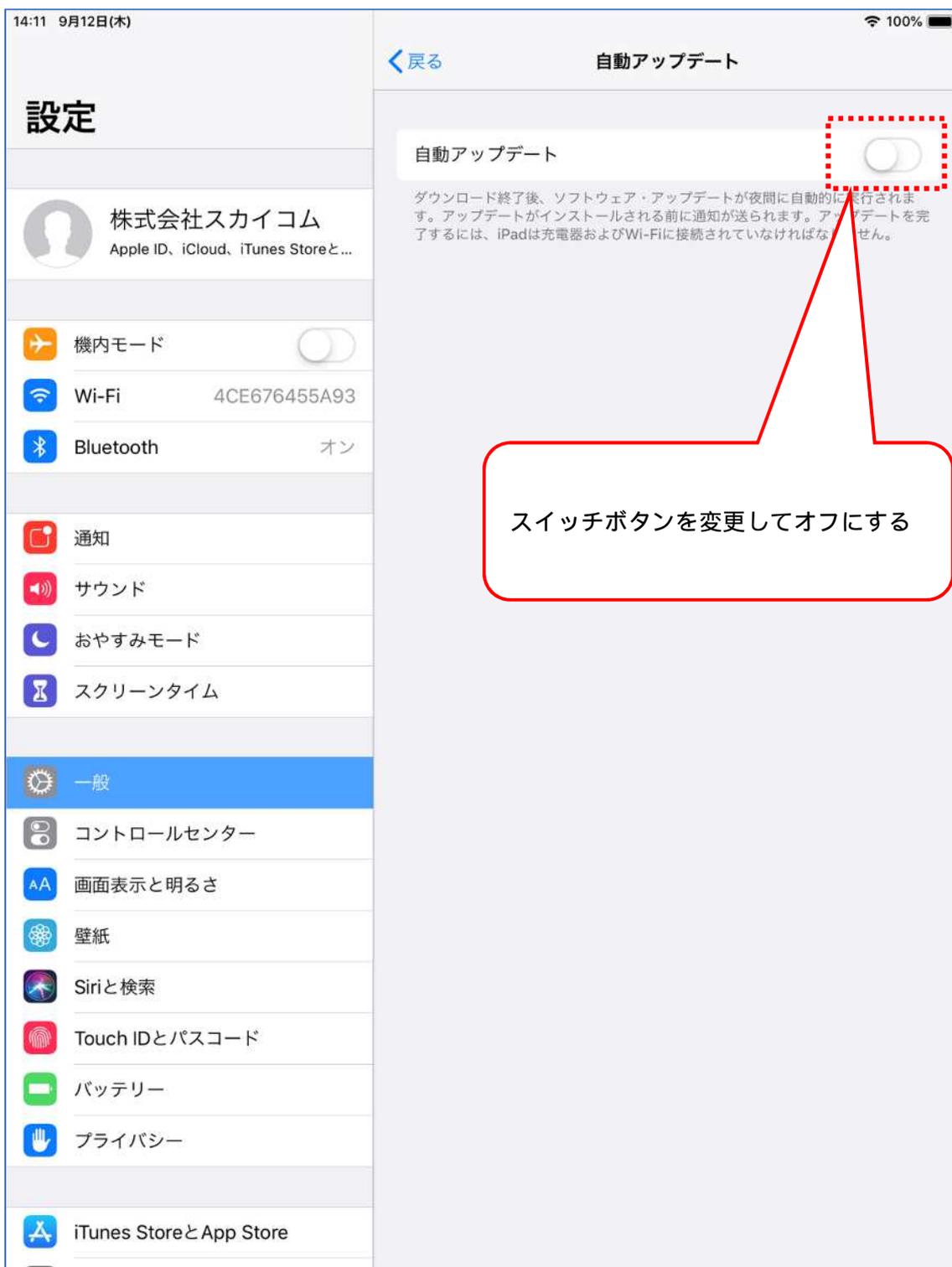
一般 ソフトウェア・アップデートを選択



自動アップデートの設定内容を確認



自動アップデートの設定の変更



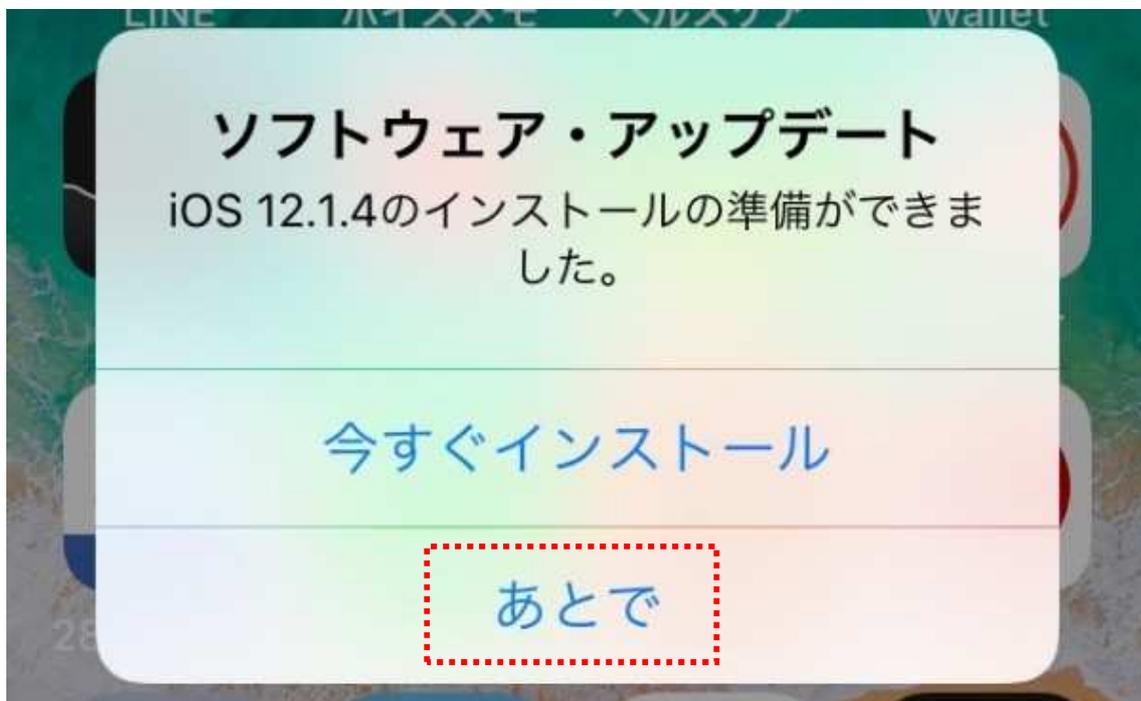
以上で、自動アップデートはされない設定となります。

2．ソフトウェアアップデートの通知について

OS のアップデートが存在しインストールの準備が整った際に、iPad 上にソフトウェアアップデートの通知が表示されます。

OS をアップデートしないためには、通知が来てもインストールしない必要があります。

- ・ソフトウェアアップデートの通知画面（イメージ）



iPad の OS のバージョンにより、見た目が違う場合があります。

ここで、赤枠で囲っている「あとで」をタップしてください。

「あとで」をタップした後に、OS のバージョンによっては夜間にインストールするためのパスコード入力画面が表示される場合があります。

・夜間にインストールを促す画面（イメージ）



ここでも、赤枠で囲っている「後で通知」をタップしてください。
これでアップデート通知が来た場合でも OS がアップデートされることはありません。

一度回避しても、アップデートの通知は定期的に表示されます。
その場合は、同様の操作にてアップデートが行われなないようにしてください。